

第26回白馬村ソフトボール選手権大会要項

- 1 主 催 白馬村スポーツ協会
- 2 主 管 白馬村ソフトボール連盟
- 3 後 援 白馬村 白馬村教育委員会
- 4 大会日時 令和7年10月13日（祝・月） 雨天中止
※雨天中止の場合朝6時～6時30分の間に広報無線で放送
開会式 午前8時00分 （村営北部グラウンド）
試合開始予定 午前9時
- 5 会 場 村営北部・南部グラウンド
- 6 出場資格 高校生以上の白馬村在住、在勤者 但し、白馬村ソフトボール連盟登録者はこの限りではない。
- 7 チーム編成 監督1名 選手20名以内（但し、県軟式野球連盟登録者は1チーム3名以内とする）
※監督が選手を兼ねる場合は、選手としても登録しなければならない。
- 8 参加申込 申込書により、令和7年9月25日（木曜日）午後5時迄に、協和ウイング白馬内
白馬村スポーツ協会事務局（TEL72-8770）へ申し込むこと。（受付時間：平日午前9時～午後5時）
- 9 参 加 料 1チーム4,000円（監督会議の受付時にスポーツ協会事務局へ納入）
- 10 監督会議 令和7年10月7日（火曜日）午後6時30分から協和ウイング白馬2階会議室にて行う。（別途通知はしない。）※監督会議以降の選手変更は認めない。
- 11 試合方法
 - 1) 試合方式はトーナメント戦方式とするが、チーム数によってはリーグ戦方式、又は併用を採用することができる。
 - 2) 試合イニングは7回、または60分（決勝は70分）とし、60分（70分）経過して新しいイニングに入らない。
 - 3) 7回終了時または60分（70分）経過して同点の場合は、タイブレイク1イニングで勝敗を決める。タイブレイクで決着がつかない場合は最終出場選手9名によるジャンケンを行い、5人先取を勝者とする。
 - 4) リーグ戦採用時、複数チームの勝敗が並んだ場合、総失点が小さいチームを上位とし、総失点と同じ場合は得失点率差が大きいチームを上位とする。
※得失点率差＝得点率（総得点/総攻撃イニング数）－失点率（総失点/総守備イニング数）
 - 5) コールドゲームは3回以降毎回とし、得点差コールドゲームは、3回15点、4回10点、5回以降7点差が生じた時とする。
 - 6) 試合は2025年度JSA オフィシャルルール及び本大会申し合わせ事項による。
 - 7) 試合中、抗議できるのは監督のみである。
 - 8) 試合開始5分前にチーム編成ができないチームは、没収試合とする。
過失のないチームが7対0（攻撃イニング、守備イニング数とも「7」）で勝者とする。
 - 9) 試合中、打者・打者走者・走者・次打者はヘルメットを着用する。捕手は、スロートガード付きのマスクとヘルメット・レガースを着用する。また、準備投球時の捕手は、スロートガード付きのマスクとヘルメットを着用する。なお、ベースコーチはヘルメット着用すること。
 - 10) 対戦番号の若いチームを一塁側とする。
 - 11) 服装は原則として同一ユニフォームとする。異なる場合は監督会議時に了承を得る。
 - 12) メンバー表は、試合前に本部へ3部提出すること。
 - 13) 試合開始以降、雨天等により中断が生じた場合は、判断をスポーツ協会事務局に一任する。
 - 14) ベースは固定、ホームランラインを70mにて設ける。
- 12 表 彰 1位～3位のチームに賞状を授与する。
- 13 そ の 他
 - 1) 各チーム7名の審判員、記録員を出すこと。
※1回戦の塁審は抽選とし、以後は負けチームが行う。（塁審は選手と区別のできる服装で行うこと。）
 - 2) グラウンド整備は当日7時00分より、各チーム2名ずつ出席すること。小雨の場合もグラウンドに集合し、審判員・事務局の指示に従う。
 - 3) 大会中の怪我は応急処置のみとし、以降の責任は負わない。
 - 4) 当番医は白馬診療所です。
 - 5) 試合終了後のグラウンド整備・清掃・片付けは両チームで行う。
 - 6) 試合ボールは事務局で用意する。